

介護福祉学科 (昼間部2年制)

区分		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		講義概要
							前 期	後 期	前 期	後 期	
基礎分野	独自科目	コンピューター Information Science	必修	演習	1	30		30			コンピュータの操作方法(ワード・エクセル・パワーポイント)を学ぶ。
		国家試験講座 Examination Measures Class	選択	講義	2	60			30	30	国家試験等の傾向と対策において介護福祉士の知識・技術を確認する。また、検定試験の合格を目指す。
		業界特講 Extra Lectures in business	選択	講義	3	90		30	30	30	実際に福祉業界で活躍する方々の講義や現場を見学し、求められる人材について理解を深めキャリア設計に役立てる
専門分野	人間と社会	人間の尊厳と自立 Human Dignity and Independence	必修	講義	2	30	30				介護における尊厳・自立保持の支援や介護場面における倫理的課題を学ぶ。
		人間関係とコミュニケーション Interpersonal Relationship and Communications	必修	講義	4	60	30			30	介護実践に必要な人間理解、他者への情報伝達に必要なコミュニケーションを学ぶ。
		社会の理解Ⅰ Basic Understanding of SocietyⅠ	必修	講義	2	30		30			個人を家族・近隣・地域・社会の単位でとらえ人間の自立、および我が国の社会保障を学ぶ。
		社会の理解Ⅱ Basic Understanding of SocietyⅡ	必修	講義	2	30				30	介護保険制度、障害者の自立支援を担う法制度、介護実践と諸制度を学ぶ。
		介護福祉特講 Extra Lectures in Welfare	選択	講義	4	120	30	30	30	30	「生活」「家庭」の視点から地域福祉の現状・展望を学ぶ。「介護予防」の視点から地域福祉の課題と展望を学ぶ。クラス・グループ活動を通し協働とリーダーシップを学ぶ。
		地域特講 Extra Lectures in communities	選択	講義	3	90	30	30	30		地域包括支援を担う介護分野の領域や、視点について理解を深めるために、社会資源の理解や企画運営を通して、マネジメント力の基礎を学ぶ。
		介護研究 Clinical Practice in Care Facilities	必修	演習	1	30				30	高齢者の楽しみ活動の支援・介助についてグループ研究として取り組む。知識を専門的に身につけ論文を作成・発表する。
		国際福祉論(海外研修) Comparative Perspective of Welfare	必修	演習	1	30			30		海外の福祉と文化を学び実際に見学体験をする。外国・異文化圏の福祉観や制度に触れ、福祉の展望や課題について考える。
	介護	介護の基本Ⅰ Provide Basic Personal CareⅠ	必修	講義	4	60	30	30			尊厳を保持し、自立に向けた生活への介護、介護の専門的役割、ICFについて学ぶ。生死観について考える。
		介護の基本Ⅱ Provide Basic Personal CareⅡ	必修	講義	4	60	30		30		介護福祉士の役割、介護実践の連携、安全確保とリスクマネジメント、健康管理について学ぶ。
		介護の基本Ⅲ(演習) Provide Basic Personal CareⅢ	必修	演習	2	60				60	「生きがい」支援を学ぶ。レクリエーション活動の支援に必要な基本を身につける。関連する療法について学ぶ。

区分	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		講義概要
						前 期	後 期	前 期	後 期	
専門分野	介護	コミュニケーション技術Ⅰ Communication Skill Theory	必修 講義	2	30	30				援助的コミュニケーションを理解し、多職種連携のためのコミュニケーションを身につける。
		コミュニケーション技術Ⅱ（点字） Braille	必修 演習	1	30			30		援助的コミュニケーションの技術（点字）の基礎を習得する。
		コミュニケーション技術Ⅱ（手話） Sign Language	必修 演習	1	30			30		視覚障害者とのコミュニケーション技法を学ぶ。
		生活支援技術Ⅰ Skill that Support LifeⅠ	必修 講義	2	30	30				家庭生活（小規模多機能・ユニットケア・グループホームも含む）の基本、家事の介護、緊急時の対応について学ぶ。
		生活支援技術Ⅰ（演習） Skill that Support LifeⅠ	必修 演習	2	60			60		調理・被服実習を通して高齢者の生活の実際を学ぶ。
		生活支援技術Ⅱ Skill that Support LifeⅡ	必修 講義	4	60	30	30			アセスメント・身支度・移動・食事・入浴・排泄・睡眠・終末期の介護の知識を学ぶ。
		生活支援技術Ⅱ（演習） Skill that Support LifeⅡ	必修 演習	4	120	60	60			アセスメント・身支度・移動・食事・入浴・排泄・睡眠・終末期の介護を演習を通じて学ぶ。
		生活支援技術Ⅲ（演習） Skill that Support LifeⅢ	必修 演習	2	60			60		尊厳の保持の観点から自立的な生活を支援するために、多様な利用者に応じた適切な介護技術を学ぶ。
		介護過程 Personal Care Process	必修 講義	10	150		30	60	60	知識や技術を統合して介護過程を展開し、介護計画を立案する。適切な介護サービスの提供の為に介護看護の連携を学ぶ。
		介護総合演習 Clinical Practice in Welfare Facilities	必修 講義	8	120	30	30	60		介護実習Ⅰ、Ⅱについて総合的に学習する。また介護看護の連携を行い他職種の理解をする。
		介護実習Ⅰ Clinical Practice in Welfare FacilitiesⅠ	必修 実習	2	96		96			学んだ知識や技術を応用活用し、実践的な技術等を体得する。利用者との人間的な関わりを通して、求められる理解力・判断力を養う。
		介護実習Ⅱ Clinical Practice in Welfare FacilitiesⅡ	必修 実習	8	376		160	216		学んだ知識や技術を応用活用し、実践的な技術等を体得する。利用者との人間的な関わりを通して、求められる理解力・判断力を養う。
	こころとからだのしくみ	発達と老化の理解Ⅰ Basic Understanding Development and Aging	必修 講義	2	30	30				成長と発達、老年期の発達成熟、老化に伴う変化と生活《心身》、高齢者と健康について学ぶ。
		発達と老化の理解Ⅱ Basic Understanding Development and Aging	必修 講義	2	30			30		成長と発達、老年期の発達成熟、老化に伴う変化と生活《心身》、高齢者と健康について学ぶ。

区分		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1 年		2 年		講義概要
							前 期	後 期	前 期	後 期	
専門分野	こころとからだのしくみ	認知症の理解 Basic Understanding of Dementia	必修	講義	4	60		30	30		認知症者の体験や意思表示が困難な特性を理解する。本人のみならず家族や周囲の環境にも配慮した介護を学ぶ。
		障害の理解 Basic Understanding Disabled and Not Disabled	必修	講義	4	60		30	30		障害者の心理や身体機能に関する基礎的知識を学ぶ。本人のみならず家族や周囲の環境にも配慮した介護を学ぶ。
		こころとからだのしくみ Mechanism of Mind and Body	必修	講義	8	120	30	30	30	30	介護技術の根拠となる人体の構造や機能および介護サービスにおける安全への留意点、心理的側面への配慮・ターミナルケアを理解する。多様な障害について理解を深める。
		医療的ケア Medical Care	必修	講義・演習	6	90		30	30	30	たんの吸引(口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内部)、経管栄養(胃ろう又は腸ろう、経鼻経管栄養)、救急蘇生に関する知識や技能を習得する。
総単位数/総時間数					107	2332	420	706	726	480	